

新型コロナ感染クラスターを経験して学んだ事

～With コロナ 陽・陽介護もありかな～

介護老人保健施設 中城苑

入所介護 大城修

【はじめに】

2019年12月に中国湖北省武漢市の原因不明の肺炎の集団発生から始まり、世界的な大流行に至って3年目が経過、新型コロナウイルスの変異株に翻弄され医療・介護施設はひっ迫されてきた。当施設も第6波までは、入所者の感染を抑え込んでいましたが、第7波では、初めて当施設でのクラスターを経験し、感じ、学んだ事を報告していきます。

【施設概要】介護老人保健施設 入所100床

1階：事務所・居宅・通所サービス

2階入所者：45名 3階入所者：46名

入所職員；看護9名 介護29名 入浴担当7名

【日常の感染防止対策】

1. ワクチン接種の推奨

2. 三密を避けた日常生活

3. 出勤前の健康チェック

(検温、風邪症状等の有無、家族内感染者の確認)

4. 勤務中はマスク着用と手指消毒の徹底

【第7波 新型コロナ感染経過】

月	日	利用者陽性数	職員陽性数	備考
7/22	金	0	0	娘の保育園集団感染にてA介護職員勤務終了後連絡あり
7/23	土	0	1	A介護職員 咽頭痛・発熱 陽性
7/24	日	1	0	入所者1名発熱あり陽性
7/25	月	5	2	入所者15名に発熱あり陽性
7/26	火	0	4	職員4名咽頭違和感訴え陽性
7/27	水	0	1	7/26行政PCR採取 提出
7/28	木	31	0	行政PCR結果：45名中35名陽性
7/29	金	0	6	定期介護従事者PCR検査6名陽性
7/30	土	1	0	入所者1名陽性
7/31	日	2	1	入所者1名陽性 職員1名陽性
8/1	月	0	0	
8/2	火	2	0	入所者2名陽性
8/13	土			入所者全員 解除
合計		42	15	

【クラスター発生時の対応策】

①発熱咽頭違和感等症状あり (PCR抗原検査)

②クラスター発生を確定し沖縄県医療機関・施設班への報告、必要物資の依頼。

濃厚接触者のPCR検査保健所へ依頼と実施

③入所棟全体レッドゾーンとしN95フェイスガード着用とガウンテクニックの開始

④介護業務の簡素化

入浴禁止 衣服洗濯・汚物の処理 72時間放置後処理する

⑤治療：対症療法(解熱剤、点滴、抗生剤)開始

⑥職員が感染⇒法人職員からの応援体制

職員応援体制困難な場合⇒県応援派遣調整

【考察】

・入所者45名中42名 職員45名中15名感染したが職員を一か所に固定し、他部署への入室禁止することで、他部署への感染はなかった

・入所者のマスク着用は困難で、同じフロアでは、隔離しても感染を止めることができず

・ワクチンを積極的に打つことで発熱や倦怠感程度で抑え、重症化はしなかった

・職員自身にも陽性が判明したのだが、無症状であったため、施設管理者の指示にて陽性者が陽性者の介護をすることができた

・クラスターになっても恐れることなく対症療法にて軽快していくため、解除日を迎え、日常生活に戻ることに

【おわりに】

一生懸命感染防止対策を図っても見えないウイルスとの闘いは、大変であった。職員には、外出や三密を避けながら、家庭内感染しないよう行動制限を強いた状況もあり心身共にストレスを与えていたと思う。今回、新型コロナ感染症第7波を経験することによってクラスター発生時の行政との連携や協力体制は、クラスター発生して学び得たことは、基調な体験であった。季節性インフルエンザ・ノロウイルス・疥癬などの対応にて完治していることから恐れず、過剰に反応するのではなく今まで通り感染症対策を行いながら新型コロナと向き合っていきたい。